

令和8年度 第2回 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和8年8月24日（月）10時00分から12時00分まで
- 2 場 所 静岡庁舎 本館3階 第3委員会室
- 3 出席者 **【委員】**（敬称略）
木宮 敬信、祝原 豊、田村 元延、加藤 綾子、山城 史人、
大島 友佳里、伊藤 省吾、内川 久雄、高津 健一、天野 温紀
牧田 裕介

【事務局】
（スポーツ振興課）
能口スポーツ振興課長、三矢施設担当課長、深澤課長補佐兼企画係
長、森山施設第1係長、鷺澤施設第2係長、島田ユニバーサルスポー
ツ推進係長、野崎スポーツツーリズム推進係長、梅原主任主事、齋藤
主任主事、萩原主事
- 4 欠席者 鈴木 健司、深澤 陽介、笹本 とよ子、森 菜月
- 5 傍聴者 2名
- 6 報告事項 （1）第2期静岡市スポーツ推進計画の令和7年度進捗状況について
- 7 協議事項 （1）第3期静岡市スポーツ推進計画の策定について
- 8 その他 （1）静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度について
（2）企業対抗ユニバーサルスポーツ大会について
（3）静岡マラソン開催について

9 会議概要

齋藤主任主事

<開会>

- ・配布資料の確認
- ・会議成立（委員半数以上の11名出席により会議成立）
- ・会議の公開について、事前の傍聴希望者：2名
- ・当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する<異議なし>

報告事項（1）第2期静岡市スポーツ推進計画の令和7年度進捗状況について

【資料1】

萩原主事

・資料1に沿って「第2期静岡市スポーツ推進計画の令和7年度進捗状況」について説明。

鷲澤係長

- ・資料1（No. 1, 8, 10, 13, 24）に沿って「指定管理施設での教室」について説明。

島田係長

- ・資料1（No. 28）に沿って「区民体育大会の開催」について説明。

鷲澤係長

- ・資料1（No. 40）に沿って「スポーツ施設改修事業」について説明。

島田係長

・資料1（No. 57）に沿って「スポーツ指導者スキルアップ講習会の開催」について説明。

野崎係長

- ・資料1（No. 74）に沿って「静岡マラソンの開催支援」について説明。

島田係長

・資料1（No. 91）に沿って「ホームタウンチームと連携したスポーツ教室」について説明。

深澤係長

- ・資料1（新規）に沿って「静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定の実

施」について説明。

<委員からの質問・意見>

- ・なし

協議事項（１）第３期静岡市スポーツ推進計画の策定について

【資料２・参考資料５】

萩原主事

- ・資料２、参考資料５に沿って「第３期静岡市スポーツ推進計画（骨子案）」について説明。

<委員からの質問・意見>

木宮会長

- ・前回からの変更点は、基本方針を３つから５つにし、それぞれの方針に対して、１つ指標を定めたという点。
- ・特に基本方針４、５は、どのような指標を採用するか検討する必要がある。
- ・基本方針４の案１ホームゲーム観戦費用について、９２億円という金額設定のイメージとしては、新アリーナ・新スタジアムが完成してほぼ満員状態であるということ。
- ・指標というのは、現実的な目標値を定めるものである。しかしこの指標は、スポーツ実施率１００％を目指すと言っているのと近い。この数字を大きくしたいこともわかるが、指標を１００％で設定することがスポーツ推進計画の指標として適切なのか。
- ・案２スポーツに関する消費額について、これから１０年間で物価上昇を考えると、金額が上がるのは当たり前なので、それも踏まえてこの指標で適切に評価できるのか。
- ・基本方針５の案１庵原地区におけるスポーツ施設利用者数について、庵原地区で言えば施設が整備されるので、施設利用者が増えるのは当たり前だが、その他の地域の施設利用者が減る場合もある。
- ・同じ施設規模の中で増加を調べるのであれば分かるが、この１０年で前提条件が変わってしまうことも悩ましい。
- ・ユニバーサルスポーツを活性化していくというのが、どういう指標で表せるのかということについて、話せたらよい。
- ・いずれにしても、期限が決まっている話だと思いますが、方向性を決定するのは本日ですよね。

齋藤主任主事

- ・次の審議会で確定となります。

木宮会長

- ・そうすると、本日の審議会で方向性までは決めておかないと間に合わないため、グループワークの中でたくさん御意見いただいて、何かそこから見つければよいかなと。
- ・これらを踏まえて、グループワークにて、協議したい。

<ワークショップ>

- ・各班に分かれてグループワークを実施。

資料2の基本方針4及び基本方針5に係る指標について、また指標の目標値について各班で議論した。

2班：伊藤委員

- ・基本方針4については案2がいいのではないかな。
- ・スポーツ推進計画の趣旨からすると、スポーツを楽しむことを目的としたいので、案1の方は誤解されやすいのでは。
- ・案2には案1のホームゲーム観戦に係る費用も含まれていることから、スポーツに関わる消費を大きく捉えることができるのではないかな。ネット視聴も含めることができる。
- ・基本方針5については案1がいいのではないかな。
- ・ただし、ユニバーサルスポーツの聖地化とあるが、市民の皆様に周知、浸透していない現状がある。案1の方がよいのではないかなと思うが、まずは周知。認知度を上げていくということで、障がいがある人もない人も一緒にユニバーサルスポーツに親しむ機会に参加することができたかというような、認知度を上げるためのアンケートの取り方でも良いのではないかな。
- ・案2の障がいのある方の週1回以上のスポーツの実施は現実的に難しい現状がある。

3班：田村委員

- ・基本方針4については案2がいいのではないかな。
- ・案1ではどこまでがチームの観戦費用に含まれているのか。宿泊費や外で食べる食費など、難しい。
- ・案2を採用した方が、ホームゲームに行くというのも反映されていると思う。
- ・スポーツに親しんでいる子どもがいる家庭や高齢者がやっているというのも算出できる。ただ、ここに地域経済というのが入ってくると、ネットで取り寄せた物がある場合、それが地域経済の活性化に反映されているのかはわかりづらい。
- ・基本方針5について、案1でも案2でもうまく反映していくような数値になるのではないかな。
- ・案1、施設利用の動向をどれだけみるのか。実際にユニバーサルスポーツが市民に浸透していない。ソフト面も重要になってくるのではないかな。

1 班：天野委員

- ・基本方針4について、これからの10年でプロスポーツ業界も変化していくと予想される中で、金額を指標としておいてよいのかというところを議論のベースに置いた。
- ・案1は、マックス値で出ているので、金額を減らすか、新アリーナを含む金額から新アリーナを含めない現状の数値をおくのはどうか。
- ・案2は金額で示されているが、比率に替えるのはどうか。
- ・新たな提案としては、金額ではなくホームゲームに訪れた観戦者数でもいいのではないかな。
- ・基本方針5の案1はユニバーサルスポーツの利用が優先となると、その他のスポーツの利用は他の地域に行くので人数が減る可能性も考えられる。
- ・案2は、パーセントの上がり方が高い。この上昇率をどのように設定するのか。

<委員からの質問・意見>

木宮会長

- ・基本方針4の指標について、経済的な指標をどこまで盛り込むのか。盛り込むことでスポーツ推進そのものが苦しくなる。将来的に苦しくなるのではと現実的に難しいところもあると感じた。
- ・東レはホームタウンチームではないが、アリーナができたならなのではないか。条件が変わることを比べることにどれだけ意味があるのか。同じ条件の中で比べられるものを指標とするのが当たり前の話でもある。
- ・それでいうと家計調査も物価が変わる難しさがあるため、なかなか決めにくい。
- ・新しい指標でこれから数字を集め、明らかになるものもあるかもしれないというヒントをいただけたのではないかな。
- ・まずは再検討していただき、次回は、最終案を提示していただき決めたい。
- ・今日は問題点も見えたので有意義な場になった。

その他の案内

齋藤主任主事

【資料4】 【資料5】

- ・「静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度」について案内、委員の皆様にも周知の協力を依頼。
- ・「企業対抗ユニバーサルスポーツ大会」について案内。

野崎係長

【資料6】

「静岡マラソン」について案内。

以上

令和8年度 第2回静岡市スポーツ推進審議会の審議内容について、
上記のとおり相違ありません。

令和8年9月4日

静岡市スポーツ推進審議会 会長 常葉大学教授 木宮 敬信